

逗子に新しい風を！

逗子市議会議員

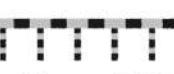
やぎの太郎 議会報告



<山の根踏切特集>



市民不在の中、山の根踏切閉鎖決定！？

 市は住民の利用状況調査、住民の意識調査、
住民説明なしでの踏切閉鎖を JR に要請すべきではない！

2019年3月21日に死亡事故が発生した『山の根踏切』について、市議会本会議で取り上げられました。
(逗子市議会本会議での要旨・要約)

Q 山の根踏切は生活道路であり、利便性を考慮し安全対策を早急に行うべきである。

JR とは話し合いをしているのか？JR に安全対策を求めているのか？

市長 死亡事故が起きた以上、市民安全が最優先であり、早期に閉鎖するよう JR に
申し入れた。一部の市民の利便性より、安全性が最優先と考える。

(4月26日付、行政は『山の根踏切事故の対応』について JR 関係者と協議)

Q 閉鎖にあたって住民の声を聞くべきではないか。

市長 市として利便性は理解しているが、安全最優先で廃止はやむを得ないと考えている。

Q JR への要請にあたり、住民と話し合いを持ったのか？

市長 これまで市としては行なっていない。安全最優先で、事故後即刻閉鎖を申し入れた。

Q 利用している住民の理解と納得が必要ではないか。

市長 踏切の管理者は JR であり、どう取り組むかは JR の判断と責任で進めるもの。

JR から住民説明の調整要請があれば、市としては対応していきたい。

山の根踏切の利用状況と過去の事故発生状況を
JR に確認しました。

JR 東日本横浜支社の回答

山の根踏切の通行者数

1日当たり400人弱（2016年直近調査）

過去の事故事例（国鉄民営化以降）

1987年4月18日23時頃 列車と男性が接触

2005年3月13日18時頃 列車と男性が接触



(市民の大切な生活道路となっている山の根踏切)



(見通しは良好！駅前踏切に回れと言うが、そこも車だらけで危険一杯！)



(お年寄りに歩道橋を渡れと言うのか)

長年の『利便性』と『安全性』が懸案となっていた山の根踏切ですが、踏切閉鎖にあたって関係する市民の理解と納得が重要です。

行政単独の判断で閉鎖をするのではなく、今後の活用については、利用している市民、JR、行政（市長）の3者による説明会、話し合いの場をもつ事が大前提です。

仮に、閉鎖にあたっての住民説明責任が踏切の管理者であるJRにあるのであれば、同時に即時閉鎖をJRに申し入れてしまった事への住民への理解と納得を得る責任は行政にあります。

[住民への説明]→[住民との話し合い]→[決断をする] それが行政では？

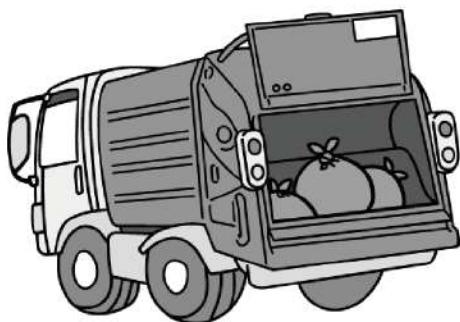
山の根踏切前の道路を 鎌倉市のごみが毎年1万トン通過する？

本年3月26日鎌倉市議会にて『将来のごみ処理体制についての方針』が報告されました。

鎌倉市が提起したごみの最適将来計画の要約

鎌倉市の焼却処理施設（名越清掃工場）は地域住民との協定により2024年度で焼却停止。
ごみ焼却炉は新規に建設せず、焼却ごみの自区内処理方針（国が定めた基本方針）をあきらめ、
年間約10,000トンの焼却ごみを逗子市清掃工場と外部委託事業者にて処理する。

上記の提案に逗子市が同意した場合、山の根踏切前の
県道金沢・逗子線が、ごみ運搬車（2トン車換算5000台）の
搬入経路になることが想定されます。



＜行政側のコメント＞

鎌倉市のごみの受け入れは検討中で、決断に際しては
市民や議会の理解を得ることが必要と考えている。

＜やぎのコメント＞

鎌倉市のごみ受け入れは、県道金沢・逗子線沿線
住民の安全と交通渋滞に配慮することが最も重要！

市政へのご意見・ご要望お聞かせください！責任を持って行政に届けます！

「やぎの太郎後援会」へご入会いただける方、ポスター貼りにご協力いただける方、ご連絡お待ちしております！

TEL 0467-40-5520 (留守電可)

FAX 0467-23-1985

E-Mail info@yagino-taro.jp

八木野 太郎 プロフィール 1980年生まれ・逗子生まれ逗子育ち！

2014年より逗子市議会議員・総務常任委員会（委員長）・基地
対策特別委員・議会報編集委員・逗子市商工会会員・逗子防衛協会会員

